

レイク・カヌー体験について

コンセプト

みなかみ町の豊かな自然環境の中、湖上という非日常空間で、カヌーという乗り物を通して、自然の中で遊ぶ楽しさを感じ、また、友人との協力、参加者全員で同じ体験をすることによって生まれる一体感、そして最後まで自分達の手でやり遂げた達成感などを体感して頂くことをコンセプトとしております。そのため、難しいパドリング技術やエスキモーロール 転覆からの脱出 などの講習は行わず、水面を滑っていく感覚を楽しんで頂きます。

使用カヌーについて

一般的なりジットカヤック、空気を入れて使うインフレーターカヤックなど、様々なタイプを使用しますが、いずれも初心者でも操作が容易で安心して漕ぐことのできる安定性の高いモデルを使用します。主に使用するのは2人乗り艇で、ペア同士必然的に協力する大切さを学ぶことが出来ます。1人乗り艇では自分の力だけで漕げるようになる達成感をより感じる事が出来ます。

安全対策について

ライフジャケットの装着に時間を掛け、スタッフが参加者全員の着用を、チェックしていきます。また、万が一の転覆に備え、スタッフは救助ロープを装備しています。動けない艇が出た時も、牽引ロープにて対応致します。

スタッフは、普通救命講習を終了しておりますので、重大な事故の発生も救急隊に引き渡すまでの応急救命処置の訓練を受けています。



レイク・カヌー体験 実施までの流れ

事前準備

実施1ヶ月前まで

- 参加同意書（参加確認書・保険申込書）の提出
- 班名簿・サイズ表・配慮リストの提出（弊社指定エクセルデータ）

- ・2名で班編成（1ボード2名定員、端数は1名で乗船）
- ・参加する先生も生徒と同様です。配慮が必要な生徒さんのサポート同乗をお願いする場合があります
 - ➔ 既往症、持病、ケガ等の配慮事項をチェック後、詳細のヒヤリングや保護者・医師への確認等の配慮事項対応リストをお送りします

実施2週間前まで

- 配慮事項対応リストの提出

実施1週間前まで / アウトドア会社決定

- 引率者人数の確定 A. 参加 / B. 見学

持ち物

- 動きやすく濡れても構わない服装
- 濡れても構わない靴やサンダル（※1）
- タオル
- サングラス（紫外線に弱い方）
- レインウェア
- 帽子
- フタの閉まる飲料水

※1 春・秋は水が冷たい場合があるので長靴がおすすめ

実施当日

- ・出発する前にお手洗いを済ませてください
- ・観光バスで体験場所の湖へ移動します
- ・引率者、見学生徒は湖畔やバス車内で待機となります
- ・貴重品は原則、学校で管理ください

タイムスケジュール（例：午後の部）

- 13:00 観光バスで湖へ到着
セーフティトーク、ライフジャケット装着
- 13:30 乗船開始・パドリング練習
湖上ツーリング
- 15:00 下船開始
- 15:30 怪我等の確認を行い、振り返りをして終了

雨天時対応

- ・カヌーは小雨でも実施しますので、レインウェアの用意をお願いします
- ・実施不可能な荒天が予測される場合は、前日にガイドが中止判断をします（中止の場合は工芸体験などに振替手配ください）